

# 第52回日本免疫学会学術集会

The 52nd Annual Meeting of the Japanese Society for Immunology

## 趣意書

会 期	2024年1月17日(水)～19日(金)
会 場	幕張メッセ(千葉市) ※ハイブリッド開催(予定)
学術集会長	中山俊憲 (千葉大学)
副 会 長	中島裕史 (千葉大学)
	本橋新一郎 (千葉大学)
	木村元子 (千葉大学)
事務局長	平原 潔 (千葉大学)

ホームページ (<https://www2.aeplan.co.jp/jsi2023/>)

## 会長挨拶

日本免疫学会は1971年に設立された我が国の医学会を代表する学会の一つです。設立後50年以上が経ち、その間に世界の免疫学研究はめざましい進展をみせ、医学生物学の分野における多くの新しい発見をもたらしてきました。その中で我が国の免疫学研究が一貫して先導的な役割を果たしてきたことは世界が認めることです。日本免疫学会はこの間我が国の免疫学研究の中心拠点として活動してきました。一方で、2020年より拡大した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は私たちの生活だけでなく、研究、学会活動にも深刻な影響を及ぼしました。SARS-CoV2感染症に対して、世界の免疫学者は英知を結集し対応にあたりましたが、Long-COVIDをはじめ未だ不明な点が多いです。このような中、2024年1月に第52回日本免疫学会学術集会を千葉(幕張メッセ)で開催し、これまで以上に日本の叡智を結集した新たな免疫学を模索したいと考えました。

日本免疫学会は我が国の免疫学研究の中心拠点として活動してきました。2005年には、任意団体からNPO法人として生まれ変わり、さらに活発な活動を展開してきております。現在、会員数4,500名を超える我が国でも有数の学会であり、学術集会の他、国際専門誌 (International Immunology) の発行、学生や若手研究者の研修会(免疫サマースクール)、一般の方々への啓蒙活動(免疫ふしぎ未来)など、多彩な活動を進めています。2010年8月には、神戸・大阪・京都の関西地区にて、3年に1度の国際免疫学会が開催され、世界中から6,000名近い研究者が集い、世界の免疫学研究の先導役としての役割を果たしました。

日本免疫学会学術集会は、毎年国内のみならず世界中から2,000名以上の免疫研究者が一堂に会し、最新の研究成果を発表し議論する本学会の最も重要な集会です。世界から特にアジアからの一般参加者が着実に増えてきています。学術集会では例年通り、会員によるテーマごとのワークショップ、国内外の第一線の研究者による最先端課題の国際シンポジウム、各種の教育・技術セミナーなどを企画しています。

今回のコロナ禍において、ワクチンや抗体カクテル、サイトカインストームなど感染症に対して免疫の理解がいかに重要か再認識されたと思います。さらに我が国は今、これまで人類が経験したことのない超高齢社会を迎えています。免疫系は感染症、癌や免疫難病のみならず、動脈硬化、慢性炎症性疾患、認知症などの老化関連疾患にも深く関与することが示されています。これらの難治疾患の克服には、単細胞レベルのバイオインフォマティクス解析、免疫系と他の高次機能システム(神経系、内分泌系、消化器系など)との相互作用と疾患の理解、Big Dataを活用した新規免疫学的治療法の開発など、最先端のテクノロジーを導入し、より統合的なアプローチを駆使することにより免疫学を発展させることが重要です。

上記の社会的背景と国民的要請に鑑み、生命原理の理解を基礎に、感染症をはじめ多くの疾患や難病の克服と健康維持に資する学術集会とすべく、鋭意準備を進めております。第52回日本免疫学会学術集会の目的・趣旨にご賛同いただき、何卒、ご支援の程深くお願い申し上げます。なお、拠出いただきました協賛金につきましては、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、各社が公表することについて了承いたします。

第52回 日本免疫学会学術集会  
会長 中山俊憲  
千葉大学 学長

## < 開催概要 >

### 会議の名称

第52回日本免疫学会学術集会

### 主催

特定非営利活動法人日本免疫学会

### 実行委員会

学術集会長 中山俊憲 (千葉大学)  
副会長 中島裕史 (千葉大学)  
本橋新一郎 (千葉大学)  
木村元子 (千葉大学)  
事務局長 平原 潔 (千葉大学)

### 会期

2024年1月17日(水)～19日(金)

日程	午前	午後
1月17日(水)	オーバービュートーク、シンポジウム、 Clinical/Technical Seminar、ポスター、機器展示会	ワークショップ、Afternoon Seminar、 ポスターセッション、機器展示会
1月18日(木)	オーバービュートーク、シンポジウム、 Clinical/Technical Seminar、ポスター、機器展示会	ワークショップ、Afternoon Seminar、総会、受賞記念講 演、ポスターセッション、機器展示会、懇親会
1月19日(金)	オーバービュートーク、シンポジウム Clinical/Technical Seminar、ポスター、機器展示会	ワークショップ、ポスターセッション、機器展示会

※FIMSA Advanced Training Course 2023 in Chiba: 2024年1月15-16日に開催予定

### 会場

幕張メッセ(〒261-8550 千葉市美浜区中瀬2-1) ※ハイブリッド開催(予定)

### 開催概要

- ① 会議の構成 オーパービュートーク、シンポジウム、受賞記念講演、  
Technical/Clinical/Afternoon Seminar 等の各種セミナー、ワークショップ、  
ポスター発表、機器展示会、懇親会
- ② 使用言語 日本語・英語
- ③ 参加予定国 米国、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スイス、  
オーストリア、スウェーデン、オーストラリア、中国、韓国、  
東南アジア諸国、日本、他
- ④ 予定発表演題数 700 演題
- ⑤ 予定参加者数 2,000 名
- ⑥ 出版物の有無 あり(プログラム集)

## 会議の目的と概要

---

日本免疫学会は1971年に設立された我が国の医学会を代表する学会の一つです。設立後50年以上が経ち、その間に世界の免疫学研究はめざましい進展をみせ、医学生物学の分野における多くの新しい発見をもたらしてきました。その中で我が国の免疫学研究が一貫して先導的な役割を果たしてきたことは世界が認めることです。日本免疫学会はこの間我が国の免疫学研究の中心拠点として活動してきました。一方で、2020年より拡大した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は私たちの生活だけでなく、研究、学会活動にも深刻な影響を及ぼしました。SARS-CoV2感染症に対して、世界の免疫学者は英知を結集し対応にあたりましたが、Long-COVIDをはじめ未だ不明な点が多いです。このような中、2024年1月に第52回日本免疫学会学術集会を千葉(幕張メッセ)で開催し、これまで以上に日本の叡智を結集した新たな免疫学を模索したいと考えました。

日本免疫学会は我が国の免疫学研究の中心拠点として活動してきました。2005年には、任意団体からNPO法人として生まれ変わり、さらに活発な活動を展開してきております。現在、会員数4,500名を超える我が国でも有数の学会であり、学術集会の他、国際専門誌 (International Immunology) の発行、学生や若手研究者の研修会(免疫サマースクール)、一般の方々への啓蒙活動(免疫ふしぎ未来)など、多彩な活動を進めています。2010年8月には、神戸・大阪・京都の関西地区にて、3年に1度の国際免疫学会が開催され、世界中から6,000名近い研究者が集い、世界の免疫学研究の先導役としての役割を果たしました。

日本免疫学会学術集会は、毎年国内のみならず世界中から2,000名以上の免疫研究者が一堂に会し、最新の研究成果を発表し議論する本学会の最も重要な集会です。世界から特にアジアからの一般参加者が着実に増えてきています。学術集会では例年通り、会員によるテーマごとのワークショップ、国内外の第一線の研究者による最先端課題の国際シンポジウム、各種の教育・技術セミナーなどを企画しています。

今回のコロナ禍において、ワクチンや抗体カクテル、サイトカインストームなど感染症に対して免疫の理解がいかに重要か再認識されたと思います。さらに我が国は今、これまで人類が経験したことのない超高齢社会を迎えています。免疫系は感染症、癌や免疫難病のみならず、動脈硬化、慢性炎症性疾患、認知症などの老化関連疾患にも深く関与することが示されています。これらの難治疾患の克服には、単細胞レベルのバイオインフォマティクス解析、免疫系と他の高次機能システム(神経系、内分泌系、消化器系など)との相互作用と疾患の理解、Big Dataを活用した新規免疫学的治療法の開発など、最先端のテクノロジーを導入し、より統合的なアプローチを駆使することにより免疫学を発展させることが重要です。

上記の社会的背景と国民的要請に鑑み、生命原理の理解を基礎に、感染症をはじめヒトの多くの疾患や難病の克服と健康維持に資する学術集会とすべく、鋭意準備を進めております。第52回日本免疫学会学術集会の目的・趣旨にご賛同いただき、何卒、ご支援の程深くお願い申し上げます。なお、拠出いただきました協賛金につきましては、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、各社が公表することについて了承いたします。

## 演題登録期間(予定)

---

2023年7月3日(月)～8月18日(金)

## 事前参加登録期間(予定)

---

2023年7月3日(月)～11月30日(木)

## 振込口座

---

銀行名	みずほ銀行
支店名	九段支店(532)
種別・番号	普通 3213625
口座名	第52回日本免疫学会学術集会 ダイゴジユウニカイニホンメンエキガツカイガクジユツシユウカイ)

## ＜スポンサーランク＞

第52回日本免疫学会学術集会においては、以下のとおり、協賛金合計額に応じてスポンサーランクを設定し、記載の特典を設けております。協賛金額には、下記のすべてを含みます。

- ◇ 共催セミナー(臨床セミナー・テクニカルセミナー)
- ◇ 広告(プログラム集・ホームページバナー広告・幕間スライド・配信システムバナー広告)
- ◇ 展示(現地展示会・オンライン展示会・オンライン企業交流会)
- ◇ 賛助寄付金
- ◇ その他

### ■スポンサーランク別特典

スポンサーランク	参加証	ホームページ	プログラム集 (謝辞ページ)	オンラインシステム (TOPページ)
プラチナスポンサー 協賛金3,300,000円以上(税込)	10枚	ロゴ(大)掲載	ロゴ(大)掲載	ロゴ掲載
ゴールドスポンサー 協賛金2,200,000円以上(税込)	5枚	ロゴ(中)掲載	ロゴ(中)掲載	ロゴ掲載
シルバースポンサー 協賛金1,100,000円以上(税別)	5枚	ロゴ(小)掲載	ロゴ(小)掲載	/
ブロンズスポンサー 協賛金550,000円以上(税別)	/	ロゴ(小)掲載	ロゴ(小)掲載	/

上記ランク共通特典：総会・評議員会・理事会で謝辞、謝辞パネル設置

### ＜参加証について＞

スポンサー特典の参加証では、オンライン視聴システムの使用が可能です。  
 オンライン視聴システムでは、機能の一環として参加者への個別メッセージ送信が可能です。  
 是非ご活用ください。

### ＜オンラインシステム(TOPページ)ロゴ掲載イメージについて＞



※実際の仕様と異なる場合があります。

## < 共 催 セ ミ ナ ー >

### Clinical Seminar / Technical Seminar

貴社の学術・研究活動に関連した医薬品・生物学的製剤等による免疫疾患や感染症の診断、治療・予防の進展などをご紹介いただく **Clinical Seminar**、または貴社が扱う最新の医学・生命科学関連試薬・技術・機材・機器等を使った実験法などやアレルギー・免疫疾患・癌・感染症研究に関連する最新の機器紹介を通じて基礎研究・応用研究・開発研究の融合の場となる **Technical Seminar** としてご企画いただければ幸いと存じます。これらのセミナーの開催は、貴社の活動を当学会員・参加者に広く周知していただける良い機会としてのみならず、当学会員・参加者にとりましても日々の研究活動に臨床からの新しい視点を取り入れるための絶好の機会となることから、更なる免疫学研究の進展に貢献できるものと考えます。本セミナーの開催についてご検討いただきますよう、深くお願い申し上げます。なお、第 52 回日本免疫学会学術集会共催セミナーにつきましては、昨今の状況も視野に、現地会場+ライブ配信(予定)での開催を予定しておりますが、数に限りがありますので、お早めのご検討とお申し込みをいただけますと幸いです。

開催経費	¥1,650,000-(税込) 講演者・座長の旅費、謝金、参加者用お弁当(現地開催で11:45-12:45の枠) 控室飲食(現地開催時)等は、別途各企業様のご負担となります。
開催日時	2024年1月17日(水)～19日(金) 11:45-12:45
開催場所	会場は未定です。お申込み時には、大中小会場よりご希望を記載してください。 先着順にてご希望は考慮いたしますが、各サイズに限りがございますので、 ご希望通りにならない可能性もございますことをご了承ください。 最終的には全体のバランスも鑑み、主催者にて決定とさせていただきます。 大会場 約 500 席、中会場 約 200 席、小会場 約 100～150 席
募集数	クリニカルセミナー、テクニカルセミナー 合計18枠(3日合計)
申込方法	学術集会ホームページよりお申し込みを お願いします。
申込締切	2023年8月18日(金)
振込期日	2023年9月30日(金)
その他	聴講者数の報告

#### ※日本免疫学会からのお願い

- ① セミナーの開催は原則として日本免疫学会との「共催」とさせていただきます。
- ② 会場および開催日の割り当てにつきましては、基本的に「お申込先着順」とし、いただいたご希望の日程、会場を考慮した上で、実行委員会にて調整、最終決定させていただきます。  
ご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。  
会場や開催日のご希望がない場合には、実行委員会にて調整、決定させていただきます。
- ③ お分かりの範囲で結構ですので、座長と演者をご記入ください。その後で変更が生じても構いません。
- ④ 共催セミナーも抄録の提出が必要となります。オンラインでの登録をお願いする予定となっておりますが、詳細は後日、別途ご連絡いたします。
- ⑤ 日本免疫学会として講演者を推薦させていただくことも可能ですので、ご相談ください。
- ⑥ 当日配布用チラシ等の印刷案内物については、事前に原稿をご提出いただき、内容によっては変更をお願いすることがございます。

＜ 廣 告 ＞

プログラム集広告

1	広告媒体名	2023年日本免疫学会総会・学術集会 第 52巻プログラム
2	配布対象	学会参加者・学会員・掲載企業各社(広告掲載誌として1冊お送りします)
3	発行部数	1,000 部
4	版 型	A4 変形
5	掲載料金	表 4 : 1 頁(4 色) ¥220,000-(税込) 1 枠 表 2 : 1 頁(4 色) ¥165,000-(税込) 1 枠 表 3 : 1 頁(4 色) ¥132,000-(税込) 1 枠 記事 中 : 1 頁(4 色) ¥110,000-(税込) 7 枠
6	原 稿	サイズ:タテ280mm×ヨコ210mm (A4サイズでご提出の場合は、タテ280mmに合わせて縮尺を調整させていただきます) 完全データ(illustrator もしくは印刷用 PDF)にてご入稿下さい。 Adobe illustrator の場合、フォントは全てアウトライン化、画像は埋込でお願いします。制作環境(OS と illustrator のバージョン)を明記の上、確認用 PDF と同送してください。原稿は形式にかかわらず <u>CD-R</u> では受け付けられませんのでメール添付またはデータ便をご利用下さい。
7	原稿締切	2023年 9 月29日(金)
8	申込締切	2023年 9 月29日(金)
9	振込期日	2023年 10 月31日(火)
10	作成費	¥2,244,000-(税込)

ホームページバナー広告

1	広告媒体名	第 52回日本免疫学会学術集会ホームページ
2	掲載料金	¥110,000-(税込)(1 バナー、画像切替なし)
3	掲載期間	データを頂き掲載された時点から学術集会終了まで(データは各社様にてご用意下さい)
4	原 稿	日本語・英語共通 ①画 像 サ イ ズ : W190px×H60px ②解 像 度 : 72px/inch ③ファイル形式 : jpeg / gif / png いずれか ④ファイルサイズ : 300 キロバイトまで ⑤そ の 他 : リンク先URL をあわせてお知らせください 上記サイズ等詳細は多少変更される場合がございますことをご了承ください
5	原稿締切	2023年 10 月 31日(火)
6	申込期限	2023年 10 月 31日(火)
7	振込期日	2023年 11 月 30日(木)
8	募集数	予定 3 社

## 幕間スライド広告

1	広告媒体名	第 52回日本免疫学会学術集会幕間スライド
2	掲載料金	¥110,000-(税込) (スライド:画像切替なし) ※「セッション前スライド広告」に申込のあったプログラムでは幕間スライド広告は映写されません
3	掲出方法	現地開催各会場スクリーン+ライブ配信画面(大会会期中)
4	原稿	1. データ形式:PPT1 枚 2. 複数の広告がある場合、5 秒ごとに表示が切り替わります(予定)
5	原稿締切	2023 年 10 月 31日(火)
6	申込締切	2023 年 10 月 31日(火)
7	振込期日	2023 年 11 月 30日(木)
8	募集数	3 社(予定)

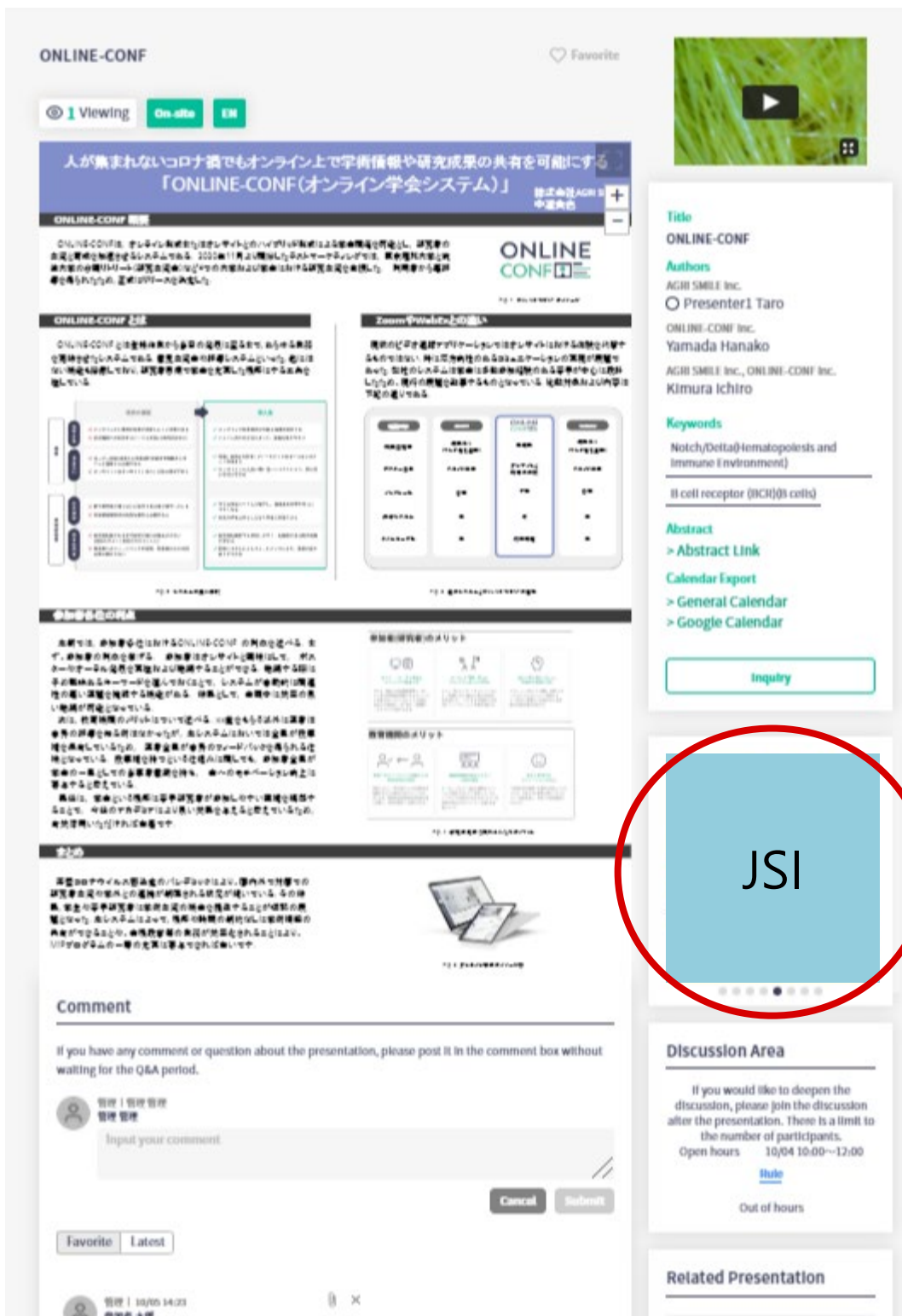
## セッション前スライド広告 ※シンポジウム情報についてはシンポジウムテーマ一覧をご参照ください(P13)。

1	広告媒体名	第 52回日本免疫学会学術集会 セッション広告
2	掲載料金	シンポジウム ¥220,000-(税込) ワークショップ ¥165,000-(税込)
3	掲出方法	現地開催各会場スクリーン+ライブ配信画面(大会会期中)
4	掲載内容	特定のセッションに対し、スクリーン幕間のスライドまたは動画広告(セッション開始前、2分以内)
5	原稿締切	2023 年 10 月 31日(火)
6	申込締切	2023 年 10 月 31日(火)
7	振込期日	2023 年 11 月 30日(木)
8	募集数	シンポジウム 6社(予定) ワークショップ7社(予定)

## 配信システムバナー広告

1	広告媒体名	第 52回日本免疫学会学術集会オンライン配信システム バナー広告
2	掲載料金	¥110,000 -(税込) (1バナー)
3	掲載期間	配信システム公開期間中
4	原稿	バナー提出サイズ : 500px×500px (※表示時は縮小されることがございます) リンク先 URL を合わせてお知らせください。
5	原稿締切	2023 年 10 月 31日(火)
6	申込締切	2023 年 10 月 31日(火)
7	振込期日	2023 年 11 月 30日(木)
8	募集数	3 社(予定)





※実際の仕様と異なる場合があります。

**申込方法** 学術集会ホームページよりお申し込みをお願いします。

## ＜ 展 示 ＞

免疫学に関連のある医薬品、ワクチン、医・理科学機器、試薬（抗血清・抗体等）、実験動物用器具、受託サービス等および書籍の展示会を開催し、参加者の皆様に最新情報を提供しております。展示会会場は、多くの参加者が気楽に訪れることができるようにいたします。サイエンス情報交換の場、そして企業様と産学交流の場として、活発な討論がなされるものと期待しております。

### 展示会

タイプ	単位	単価	対象
A	1 小間	¥297,000- (税込)	機器・試薬・ソフトウェア・受託サービス等
B	1 小間	¥264,000- (税込)	アカデミック(大学や公的機関の研究施設等)
C	1 テーブル	¥16,500- (税込)	書籍(最低 6 テーブルからの受付となります) テーブルサイズ W1800×D900×H700

#### Aタイプ/Bタイプ

小間サイズ : W2,000mm×D1,000mm×H2,500mm

社名板 : W900mm×H200mm

白地にスミゴシック文字

照明 : パラペット裏 蛍光灯(40W 1灯)

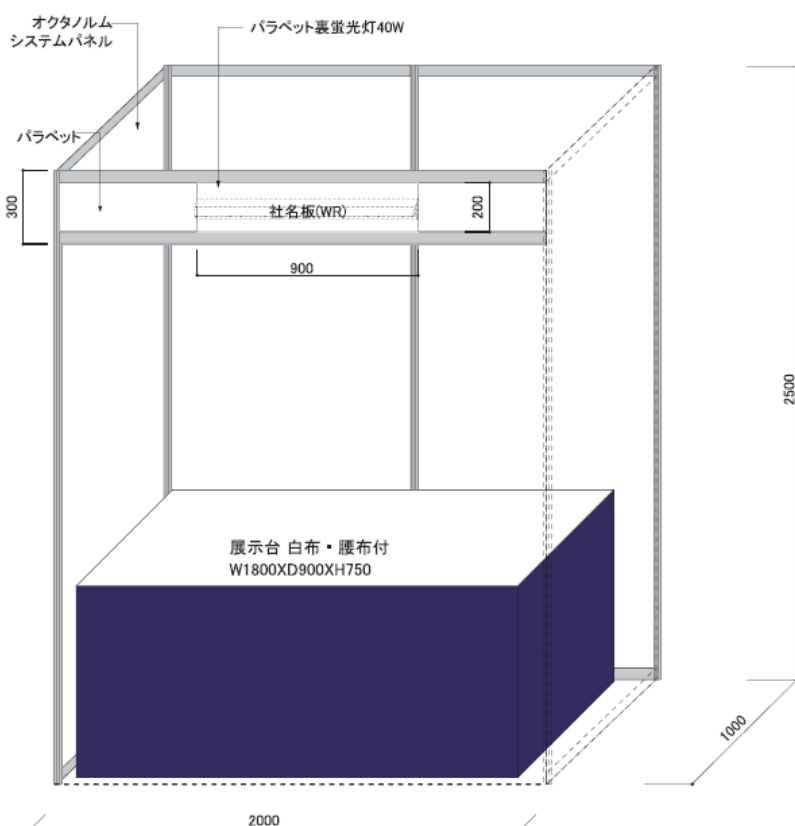
展示台 : W1,800mm×D900mm×H750mm

パイプ椅子 : 1脚

募集小間数 : 55小間(予定)

展示会場 : 幕張メッセ 展示ホール6

※左記以外のものはオプションとなります  
 ※電力料金は後日別途お見積もりとさせていただきます  
 ※壁面へは釘、鋸、ピン等一切打ち込みは出来かねます  
 ※独立・島小間等の規定や展示に関わります詳細は、  
 後日出展要項にてお知らせをいたします



#### スケジュール(予定)

申込締切 : 2023年 9月29日(金)

振込期日 : 2023年10月31日(火)

搬入 : 2024年1月16日(火)

展示会 : 2024年1月17日(水)～1月19日(金)

搬出 : 2024年1月19日(金)

※詳細は後日出展要項にてお知らせいたします

#### 申込方法

学術集会ホームページよりお申し込みをお願いします。

第52回日本免疫学会学術集会

収支予算書  
 <Hybrid開催>

収入の部

費目	単価	数量	金額
<b>1 参加費</b>		1,750 名	<b>¥19,070,000</b>
事前	事前合計	1,300 名	13,040,000
正会員	12,000 ×	790 名	9,480,000
学生会員	2,000 ×	280 名	560,000
非会員	15,000 ×	180 名	2,700,000
非会員学生	6,000 ×	50 名	300,000
当日	当日合計	450 名	6,030,000
正会員	14,000 ×	180 名	2,520,000
学生会員	3,000 ×	70 名	210,000
非会員	18,000 ×	170 名	3,060,000
非会員学生	8,000 ×	30 名	240,000
<b>2 懇親会参加費</b>		380 名	<b>¥1,084,500</b>
事前			928,500
正会員	3,000 ×	250 名	750,000
学生会員	1,500 ×	55 名	82,500
非会員	3,000 ×	15 名	45,000
非会員学生	3,000 ×	17 名	51,000
当日			156,000
正会員	4,000 ×	20 名	80,000
学生会員	2,000 ×	8 名	16,000
非会員	4,000 ×	10 名	40,000
非会員学生	4,000 ×	5 名	20,000
<b>3 共催セミナー</b>			<b>¥32,450,000</b>
テクニカルセミナー	1,650,000 ×	8 件	13,200,000
クリニカルセミナー	1,650,000 ×	9 件	14,850,000
Afternoon Seminar	2,200,000 ×	2 件	4,400,000
<b>4 展示会</b>			<b>¥16,368,000</b>
A (現地/機器・試薬等)	297,000 ×	50 小間	14,850,000
B (現地/アカデミック)	264,000 ×	5 小間	1,320,000
C (現地/書籍)	16,500 ×	12 本	198,000
<b>5 広告</b>			<b>¥4,752,000</b>
表4	220,000 ×	1 社	220,000
表3	132,000 ×	1 社	132,000
表2	165,000 ×	1 社	165,000
後付1頁	110,000 ×	7 社	770,000
幕間スライド	110,000 ×	3 社	330,000
ホームページバナー	110,000 ×	3 社	330,000
配信システムバナー	110,000 ×	3 社	330,000
セッション広告(シホ)	220,000 ×	6 社	1,320,000
セッション広告(WS)	165,000 ×	7 社	1,155,000
<b>6 寄付・助成・補助金</b>			<b>¥25,750,000</b>
千葉県助成金	15,000,000 ×	1 式	15,000,000
民間財団助成金	3,000,000 ×	1 式	3,000,000
AMED助成金	2,000,000 ×	1 式	2,000,000
日薬連寄付金	3,750,000 ×	1 式	3,750,000
賛助寄付金(企業)	2,000,000 ×	1 式	2,000,000
<b>合計</b>			<b>¥99,474,500</b>

支出の部

費目	金額
<b>1 事前準備費</b>	<b>¥18,654,660</b>
1) 事務局設置費	6,063,640
2) Webシステム経費	6,698,670
3) ホームページ製作	660,000
4) 印刷製本費	3,628,350
5) 消耗品費	599,500
6) 通信・運搬費	1,004,500
<b>2 当日運営費</b>	<b>¥80,092,508</b>
1) 会場費	17,132,775
2) 機材費	14,551,950
3) 装飾関係費	5,804,370
4) 人件費	8,612,023
5) 招聘費	26,320,740
6) 会議費	7,230,650
7) 運営諸経費	440,000
<b>3 事後処理費</b>	<b>¥44,000</b>
1) 事後処理費	44,000
<b>4 予備費</b>	<b>¥683,332</b>
<b>合計</b>	<b>¥99,474,500</b>

## < 賛助寄付金 >

### 賛助寄付金

---

第52回日本免疫学会学術集会は、学会員をはじめ参加者の皆様方と活発な討論ができる場を提供できるよう、現地開催とオンライン開催のハイブリッドを想定し準備を進めております。第52回日本免疫学会学術集会の目的・趣旨にご賛同いただき、何卒ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

●募集期間：2023年1月6日(金)～2024年1月16日(火)

●目標金額：¥5,750,000-

●寄付金の用途

2024年1月17日(水)～19日(金)にて開催される第52回日本免疫学会学術集会の準備、運営及び関連諸行事等の費用に充当させていただきます。

●申込方法

学術集会ホームページの寄付申込フォームに必要事項をご記入くださいますようお願いいたします。

なお、賛助寄付金をお振込みいただきます際には、2023年10月3日以降をお願いいたします。

●税法上の取扱い

寄付金受領証明書が必要な際には、下記の特定非営利活動法人日本免疫学会事務局へご一報ください。

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-4-2 KUMAKI ビル 2 F

TEL: 03-5809-2019 E-mail: conf-jsi@meneki.or.jp

## < キャンセルポリシー >

### 解約について

---

申込み受理後は、組織委員会が不可抗力と認めた事象以外は原則解約することはできません。組織委員会が解約を認めた場合には、出展解約理由を書面にてお送りいただき、受領した日を基準として解約料金をお支払いください。

#### ※解約料金

申込締切日までに受領した場合…請求額(協賛料金)の50%をお支払いください。

申込締切日以後に受領した場合…請求額(協賛料金)の全額をお支払いください。

天災・その他のやむを得ない事情、並びに主催の責任に帰し得ない原因により、大会および展示会の開催を変更・中止する場合があります。この変更により生じた協賛各社の損害は補償できかねます。前述の原因により開催中止、又は開催形式が変更になった場合は、主催は協賛各社に対し、共催費・協賛費から準備費用を除いた金額を算出し、請求又は返金致します。

## < 連絡先 >

### 運営準備室

---

Address：〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14

新大阪グランドビル6F 株式会社エー・イー企画内

T E L：06-6350-7163

※新型コロナウイルスの影響でテレワークを実施しております。

お問い合わせは極力E-mailをお願いします。

E-mail：e\_jsi2023@aeplan.co.jp

Website： <https://www2.aeplan.co.jp/jsi2023/>

## 第52回シンポジウムテーマ一覧(予定)

シンポジウムテーマ
脳、神経と免疫/ imaging
老化を制御する免疫
腫瘍免疫/細胞療法
慢性炎症、繊維化
免疫制御と免疫寛容
JAK阻害剤などサイトカイン制御の進歩
コロナ感染症と免疫
自然免疫センサー
免疫記憶 T&B
ヒト免疫
システム免疫、scRNA、TCR、BCR解析、細胞療法
免疫細胞系譜
アレルギー学会ジョイント企画
リウマチ学会ジョイント企画
免疫代謝
常在菌と免疫